

令和6年9月定例教育委員会定例会 会議録

1. 開催日時：令和6年9月27日（金）13:30～14:39
2. 場所：古賀市役所 第2庁舎 402会議室
3. 出席委員：長谷川教育長 木村教育長職務代理 大賀委員 小山委員 松下委員 松本委員
4. 欠席委員：なし
5. 出席職員：教育部長 桐原誠、教育総務課長 吉永ゆかり、学校教育課長兼主幹指導主事 今橋修、学校教育課主任指導主事 中野貴仁、生涯学習推進課長 樋口武史、青少年育成課長 吉永誠、文化課長 柴田博樹、学校給食センター所長 野田高弘、教育総務課庶務係長 波多江由美
6. 傍聴者：2名

7. 会議内容

1. 開会

【木村議長】13時30分、開会を宣言。

2. 教育長あいさつ

開会にあたり長谷川教育長があいさつ

3. 会議録の署名委員の指名について

【教育長】会議録署名委員は会議規則第28条の規定により教育長及び会議で決めた委員1名となっておりますので、木村職務代理を指名させていただきます。よろしくお願ひいたします。

4. 諸報告

(1) 教育長報告

(資料により、9月20日開催の管内教育長会の報告及び説明)

(2) 教育委員情報交流

なし

(3) 教育委員会報告

・市議会第3回定例会について（資料により教育部長が説明）

5. 議案

なし

6. 協議事項

・学校給食における食器の変更について（資料により学校給食センター所長が説明）

【木村議長】何か質問ありましたらお願いします。

【小山委員】18ページのSDGsを学ぶ中でプラスチックを選んだ理由を説明すべきという意見から、再利用できることをしっかりと示してもらいたいと思いました。

【学校給食センター所長】はい。PEN樹脂食器はリサイクルできる製品でございますので、そういったものを示していきたいと思っております。

【木村議長】ほかにございませんでしょうか。それでは、ご意見を伺いたいと思います。答申については、PEN樹脂食器が妥当であると判断しましたということで答申が出ておりますが、

委員の皆様のご意見をお聞かせ下さい。

【小山委員】はい。私は賛成です。

【松下委員】はい。私も賛成いたします。改めて、この答申から前回強化磁器製の破損率が年間約10%ということでした。市内の小中学校児童生徒数5,200名、1回1人当たり、3種類の食器を使われていますので、おおよそ15,000~16,000皿になると思います。年間交換率を10%として考えますと、約1,500~1,600枚の商品が破損によって交換されていますので、今後、このPEN食器と強化磁器製の食器を考えるに当たって大前提が安全性ということがもちろん最優先であります。その中で、私もPEN食器というのを推薦いたします。

【松本委員】はい、私も運営委員会の答申に賛成です。理由としまして、大きく4つありまして、一つは食器の安全性ということで、PEN樹脂も強化磁器食器もどちらも非常に安全性に優れていることで厚生労働省の基準にもクリアされている、それから2つ目、割れやすさ、割れにくいという点ではPEN樹脂食器のほうが割れにくいということで、子どものけがとか、働く人のけがを考えた場合、PEN樹脂がいいと思っております。ワゴンの利用で解決できるのではというご意見ですが、実際、学校現場で働いた者として、確かに配膳室から教室まではワゴンを利用できるんですが、教室で配膳した後、1人分の各子どもの机の上の配膳を子どもたちがやっておりますので、そのときに誤って落として割れたという案件は数多くあっております。たまたま大きなケガとか、後遺症につながるようなケガは、私の体験では出ておりませんが、非常に鋭い欠片で、床に落ちたのを処理するのも、教師のほうが非常に気を使うと。教師が手袋をして、一つ一つ破片を取ると、非常に危険な点からしてもPENの方が良いと考えております。3つ目は重さですが、子どもにとっても、給食センターで働かれています方にとっても重たいので、腱鞘炎とか腰痛とかそういった負担がありますのでPEN樹脂食器がいいと考えております。ですからこういった観点から考えると、食器の安全性、子どもの安全性、労働者の安全性、全て満たしているという点ではPEN樹脂食器が導入にはいいと思っております。言い換えれば、全ての人に優しい食器という点では、PEN樹脂食器だと考えております。それから最後に4点目導入するプロセスですね。これは非常に慎重で丁寧だと。保護者の声、子どもの声、我々教育委員会での2度にわたる協議、そして少数意見でも反対意見を非常に尊重して、反対意見にも耳を傾けて傾聴して、その上で、そういったプロセスを丁寧に行った上での運営委員会の答申ということですので、問題は全くないなと思います。以上です。

【大賀委員】私も物を大切に扱うという点では、食器が割れる、割れないに限らないのではないかなと思います。どちらの食器だとしても、物を大切に扱うことは学ぶことは可能じゃないかなと思います。PEN樹脂食器に変わったとしても、食育の機会はあると思いますし、従来の食器が入ったかごを前回のセンターでの見学の時に私でもかなり重く感じました。小学校の低学年の生徒さんだったら、本当に負担じゃないかなと思います。少しでも負担が減って、給食の準備の時間が早くなると、ゆとりを持って給食の時間を過ごせるのではないかなあと思いましたので、私はこのPEN樹脂食器が妥当であるという判断に賛成です。以上です。

【木村議長】私も、基本的にPEN樹脂食器が妥当であると思います。前回もお話しましたが、強化磁器食器に変わる時に、熱いものを注いでも異物が溶け出さないという安全性の面から、それから和食のよさを実感できるという観点から、割れることがあるという前提で食器を大切

に扱う子どもが増えるメリットがあるから、価格が高くても強化磁器食器に決まったことを覚えていますが。実際使ってみると、子どもたちも本当に丁寧に扱ってくれますし、食器の持ち方等も丁寧に持つので、給食指導としてもやりやすかったと思っています。ただ、今はちょっとよく分からないんですけど、当時は40人分をどのクラスも同じ1つのカゴに入れて運んでいました。だから、30人学級でも40枚セットで運んでいたのも、結構、低学年の子どもたちは重たかったのを覚えています。1人では持てないので2人がかりで運んでいて、階段でかごと落としてしまって、何十枚も一気に割れてしまったことがあって、その時は子どもたちもショックを受けていました。松本先生も言われましたが、1人ずつ配膳して持って行く途中で落として割るとかも多々あって、後片づけも含めてとても慎重にやっていたのを覚えています。食器かごを1人で3階の教室まで持って上がるのはとてもきついと中学生の孫でも言っているのも、調理員さんや、配膳の支援をする給食業務員さんの体の負担も相当大きいのではないかなと思っています。このような理由から私も軽くて、割れにくいPEN樹脂食器への変更に賛成します。ただ、以前はそういうプラスチックの食器だったら、食器も軽く割れないから、子どもたちがぼんと投げて返したりするんです。これが食器とすると、上から手で持って食べたりするんですね。重たい食器だとどうしても下から持つので、正しい食べ方になるんですけども、食べ方の指導については、気をつけて、元に戻らないように給食指導として取り扱ってほしいなと感じています。これは学校の問題で食器の問題ではないんですけども思っています。ほかに言い足りない方ありませんか。では、今のご意見でよろしいですか。教育委員会としては答申に賛成ということよろしいでしょうか。

【教育委員】はい

【木村議長】教育委員会としては答申に賛成いたします。

7. その他事項

(1) 各課報告

教育部長 なし

教育総務課 なし

学校教育課

- ・児童生徒指導状況について（学校教育課長が資料により報告）
- ・花鶴小学校訪問について（主任指導主事が資料により報告）
- ・古賀東中学校訪問について（主任指導主事が資料により報告）
- ・糟屋地区市町教育委員会教育委員全員研修会（主任指導主事が資料により報告）
- ・部活動地域移行に向けた方針（案）について（学校教育課長が資料により報告）

生涯学習推進課

- ・令和6年度福岡ブロック社会教育委員研修会（生涯学習推進課長が資料により報告）

文化課 なし

青少年育成課 なし

学校給食センター なし

(2) その他

教育総務課長（行事予定の説明）

庶務係長（定例会のスケジュール）

【教育総務課長】事務局から最後に、教育委員の大賀委員の任期が10月2日までとなっており、本日が最後の教育委員会会議になります。最後にご挨拶をお願いしたいと思います。

【大賀委員】本日が私にとって、教育委員としての最後の会議になりました。引き受けた時は、2期8年は、とても長いなあと感じていましたが、本当に皆さんに支えていただいて、本日を迎えることができました。ありがとうございます。この場を借りて、皆様に心から感謝を申し上げたいと思います。私自身も多くのことを学び、成長することができました。そして、日々、教育行政の最前線で活躍されている皆様の姿勢に、何度も感銘を受けました。これから私は、地域に戻り、今までとは違った形で子どもたちを見守っていきたいと思います。最後になりますが、皆様の今後の益々の御発展と御活躍をお祈り申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

【教育委員】お疲れさまでした。

7. 閉会

議長が閉会を宣言し、14時39分閉会した。

会議の経過を記載してその相違ないことを証するためここに署名する。

令和 6 年 10 月 30 日

教育長 長谷川清子

署名委員 木村真由美